

原子力システム研究開発事業  
(安全基盤技術)  
中間評価総合所見

評価の概要		
研究課題名： フッ化技術を用いた燃料デブリの安定化処理に関する研究開発		
研究代表者（研究機関名）： 深澤 哲生（日立GEニュークリア・エナジー株式会社） 再委託先研究責任者（研究機関名）： 菊池 俊明（三菱マテリアル株式会社） 再委託先研究責任者（研究機関名）： 桐島 陽（東北大学） 研究期間：平成25年度～平成29年度（5年計画）		
項目	要 約	
1. 研究の概要	本研究は、デブリ処理にフッ化物揮発法を応用した方法を適用することにより、不純物を除去して燃料デブリの減容を図り、核物質の計量管理を容易にし、デブリを最終的に安定かつ硝酸溶解可能な酸化物形態とする技術を開発することを目的とし実施する。	
2. 総合評価	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center; width: 30px;"><b>A</b></td></tr></table> 東京電力福島第一原子力発電所におけるデブリ処理の有望なオプションとなり、安全性向上と共に原子力の信頼性回復に寄与することが期待される。また、高速炉燃料を想定した場合にも適応可能な技術開発と考える。デブリの模擬性が重要なポイントであるので、最新の関連知見を活用し、研究開発を進めて頂きたい。  S) 極めて優れた成果が挙げられている A) 優れた成果が挙げられている B) 一部を除き、相応の成果が挙げられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんど挙げられていない	<b>A</b>
<b>A</b>		